

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

令和4年度技術情報について

令和4年度技術情報第4号を発売したので送付します。

**令和4年度技術情報第4号**

令和4年8月31日  
徳島県

8月第4半旬から第5半旬のフェロモントラップ定点調査において、オオタバコガの誘殺数が平年に比べて多く推移していることから、今後、野菜類で幼虫による被害の拡大が予想されます。

現地ほ場においては、発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いいたします。

作物名：野菜類(特に夏秋ナス、オクラ、ブロッコリー)

病害虫名：オオタバコガ

1.発生地域 県内全域

2.発生時期 9月上旬～

3.発生状況

(1)フェロモントラップの定点(6地点)調査において、8月第4半旬より誘殺数が増加し、第5半旬には平均で48.7頭と、平年(18.2頭)の約2.7倍となった。

(2)8月29日に実施した夏秋ナス現地7圃場における調査では、5圃場で産下卵が確認され、発生圃場率が71.4%、100葉当たりの産下卵率が0.9%と、平年(24.4%、0.4%)に比べて高かった。また、幼虫による被害果実の発生圃場率が14.3%、被害果率が0.4%と、平年(5.8%、0.1%)に比べて高かった。

4.防除法等

(1)被害部位(果実、花蕾)や剪定後の茎葉には卵や幼虫が付着している可能性があるため、圃場外に持ち出して適切に処分する。

(2)果実や茎、花蕾に食入した幼虫や発育が進んだ幼虫に対しては薬効が著しく低下するので、若齢幼虫主体の時期に薬剤防除を行う。

(3)本虫は作物の花蕾や生長点付近の新葉に1個ずつ産卵する。野外での卵期間は3日程度であり、9月第1半旬には幼虫の発生ピークが来ると予想される。その後多い状態が続く、防除適期がつかみにくくなる場合もあるので、寄生部位を注意深く観察してから防除する。

(4)防除については、徳島県植物防疫指針(URL:<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/tokushima>)を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

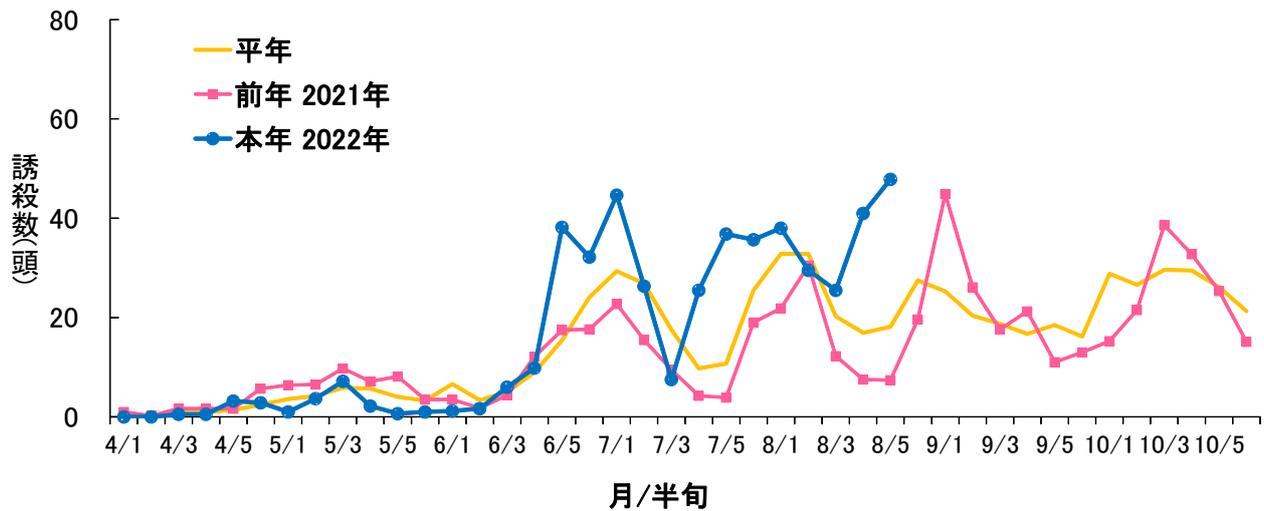


図1 オオタバコガ フェロモントラップ誘殺数推移  
\*阿波市・三好町・東みよし町・石井町の6地点平均



図2 ナスの上位葉に産下された卵(黄色円内)



図3 オオタバコガ幼虫と食害痕

○徳島県内の病害虫の発生予察情報，発生状況，防除法等をお知らせしています。

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所

所在地 〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井1660

電話 088-674-1954 ファクシミリ 088-674-3114

URL : <https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujosh/>